

# 2019年度入学試験問題出題のねらい (試験入学選考・前期)

## 中村学園大学〔栄養科学部栄養科学科〕

### 【英 語】

#### 〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 英文中の語の意味をつかみ、正しい同意語を選ぶ語彙力を問う。

第4問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第5問 会話の流れを正確に把握する力、情報を整理して英語の問いに答える力を問う。

第6問 インドの洗濯サービスビジネスについての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

### 【国 語】

#### 〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合(漢文を除く)の範囲である。

第1問 現代文・評論 ニヶ崎彬『いきと風流——日本人の生き方と生活の美学』からの出題。漢字の書き取り・読みで基本的な知識を、空欄補充、傍線部の説明、内容合致といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『百人一首一夕話』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法、敬語、和歌の修辞で基本的な知識を、指示内容の把握、傍線部の解釈、傍線部の説明、心情の把握といった読解問題で文章を丁寧に読み取る力を問う。

### 【数 学】

#### 〈出題のねらい〉

全3問で構成されており、センター試験よりやや易しいレベルの問題である。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 数と式、指数関数・対数関数、図形と計量・図形の性質、微分法と積分法の分野からの出題。(1)は絶対値を扱った問題。(2)は対数方程式についての問題。(3)は線分の比と三角形の面積を求める問題。(4)は曲線と直線で囲まれた部分の面積を求める問題。

第2問 場合の数と確率の分野からの出題。スペードとハートの合計10枚のカードについて場合の数や条件付き確率を求める問題。

第3問 式と証明・複素数と方程式の分野からの出題。因数定理、解と係数の関係などを用いて解く問題。

## 【化学基礎・化学】

### 〈出題のねらい〉

化学基礎、化学の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題で構成している。

第1問 化学基礎の中から、「化学と人間生活」「物質の構成」の分野の基礎的内容について、小問形式で問う。

第2問 化学基礎の中から、「化学結合」「物質と化学反応式」などについて、小問、および1つのテーマで3問程度の内容を問う。

第3問 化学の「物質の状態」「物質の変化」「無機物質」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

第4問 化学の「有機化合物」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

## 【生物基礎・生物】

### 〈出題のねらい〉

栄養科学部は、生物基礎の全分野、および生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の分野から、基本的な内容を中心に出题する。

教育学部は、生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出题する。なお、第1問～第3問は、栄養科学部と教育学部とで共通問題である。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出题する。文章選択を主として、数値選択や組合せ形式などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出题する。本問では、DNAの塩基組成やDNAに関する計算問題、細胞周期や遺伝子発現などについて、基本的な知識と理解を問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出题する。本問では、体温調節に関して、そのしくみや、ホルモンの分泌・はたらきなどについて、基本的な知識と理解を問う。

第4問 「生命現象と物質」・「生殖と発生」(生物)

生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の各分野の内容をそれぞれ中間形式で出题する。本問では、呼吸と発酵、および性染色体と遺伝子について、基本的な知識と理解を問う。